

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	読書と豊かな人間性				
担当者氏名	岡 美佳				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力		◎ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門応用-5 指導・保育の専門性			

《授業の概要》

子どもが本を読まなくなった、と言われて久しいが、本を読まないのではなく、読むきっかけがないことが多いのではないか。この授業では、子どもが本を読むきっかけになる、大人の側からの働きかけの様々な方法について学ぶ。適宜、受講者による活動を取り入れながら進めていく。

《授業の到達目標》

読書行為や制度における歴史の変遷を理解する。  
 子ども達に読書の楽しさを伝える方法を学ぶ。  
 記述から具体例を想起し、記述と対応させつつ専門書を読むことに習熟する。

《テキスト》

山元隆春編 2015『読書教育を学ぶ人のために』世界思想社

《参考図書》

特に指定しない。制作物を基にしたブックトークの実践を予定しているため、興味のある受講者は図書館等でブックトークについての関連書籍を読んでおくことよい。また、受講者自身の読書のきっかけにつながるよう、折に触れて担当者が関心を持ったさまざまな本を紹介していく。

《授業時間外学習》

図書館等を利用し、日常的に本に親しむことを心掛けること。

《成績評価の方法》

提出物・発表 30%、期末レポート 70%

《備考（教員経験の有無）》

専門書の読み方を学ぶため、教科書の精読、教科書記述を踏まえた意見交換を授業で行う。そのためテキストは必ず手に入れておくこと。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	読書教育の存在理由 (1)	読書教育の存在理由 (1) 「冊子」形態の意義について考える 教科書の精読を通して専門書の読み方を学ぶ
3	読書教育の存在理由 (2)	読書教育の存在理由 (2) 現代における読書の意義 教科書の精読を通して専門書の読み方を学ぶ
4	読書教育の存在理由 (3)	読書教育の存在理由 (3) 読書の継続・習慣化/読書とリテラシー 教科書の精読を通して専門書の読み方を学ぶ
5	読書感想をひらく (1)	読書感想が構造的に持つ難しさについて、教科書を手掛かりに考察する
6	読書感想をひらく (2)	読書感想を言葉にするための着眼点について、教科書を手掛かりに考察する
7	読書感想をひらく (2)	さまざまな読書感想文の形態を知り、読書教育の実践への活用方法を考える
8	ブックトークとは	ブックトークについて学ぶ
9	ブックトークを企画する (1)	ブックトークを企画する (1) (ブックトークのテーマを考える、本の選定)
10	ブックトークを企画する (2)	ブックトークを企画する (2) (選定した本の紹介ポイントを考える、紹介に使う制作物を制作する)
11	ブックトークを企画する (3)	ブックトークを企画する (3) (紹介につかう小道具を制作する)
12	ブックトークを発表する	ブックトークを発表する
13	デジタル化と読書 (1)	読書環境のデジタル化を進める利点と問題点について
14	デジタル化と読書 (2)	情報受容に対する感覚の変化について
15	まとめ	これまでの授業のまとめ